

2018年12月期 第2四半期累計 決算説明資料

2018年8月6日

ユニ・チャーム株式会社

代表取締役 社長執行役員

高原 豪久

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

2018年12月期 第2四半期累計 決算概要

◆資料内の表記

BC: ベビーケア事業

FC: フェミニンケア事業

HC: ヘルスケア事業

C&F: クリーン&フレッシュ事業

PC: ペットケア事業

● 連結業績(過去最高を更新)

- ✓ 売上高3,257億円(237億円増収 +7.8%)、コア営業利益473億円(83億円増益 +21.4%)。
- ✓ コア営業利益率 12.9%⇒14.5%、アジアを中心に大幅に改善。

● 日本業績 88億円増収(+7.2%)、9億円増益(+3.3%)

- ✓ HC…市場シェアを継続拡大。圧倒的No.1を継続。中度、軽度の新商品が好調に推移。
- ✓ BC…中国への越境ECが約2倍成長。国内ではハイプレミアム市場の活性化により成長。

● 海外業績 149億円増収(+8.3%)、74億円増益(+59.0%)

- ✓ アジア…136億円増収(+10.5%)、74億円増益(+74.1%)。
コア営業利益率7.7%⇒12.2%へ改善。
- ✓ 中国…FCは主要都市を中心にエリアを拡大。若年層向け商品の展開が好調に推移し高成長。
BCは継続したムーニー(輸入品紙おむつ)へのマーケティング投資の効果もあり、
越境ECを含めたムーニーの販売は好調に推移(正規輸入品+越境EC 約1.5倍成長)。
パンツ型紙おむつへのシフトを促進し、パンツ型の構成比は更に上昇。
- ✓ インドネシア…継続したブランド強化の効果や販路拡大等で安定的な成長を継続し収益性改善。
- ✓ インド…4月に第3工場が竣工。更なる成長基盤を強化し持続的な高成長。

● 株主還元

- ✓ 配当金…年間配当金は4円増配の24円を予定。17期連続増配を計画。
- ✓ 増配を継続しながら、配当性向を段階的に引き上げ。

237億円増収(+7.8%)、83億円営業増益(+21.4%)

いずれも過去最高を更新

2Q累計業績予想に対し、売上高、利益ともに達成



■ 連結決算ハイライト

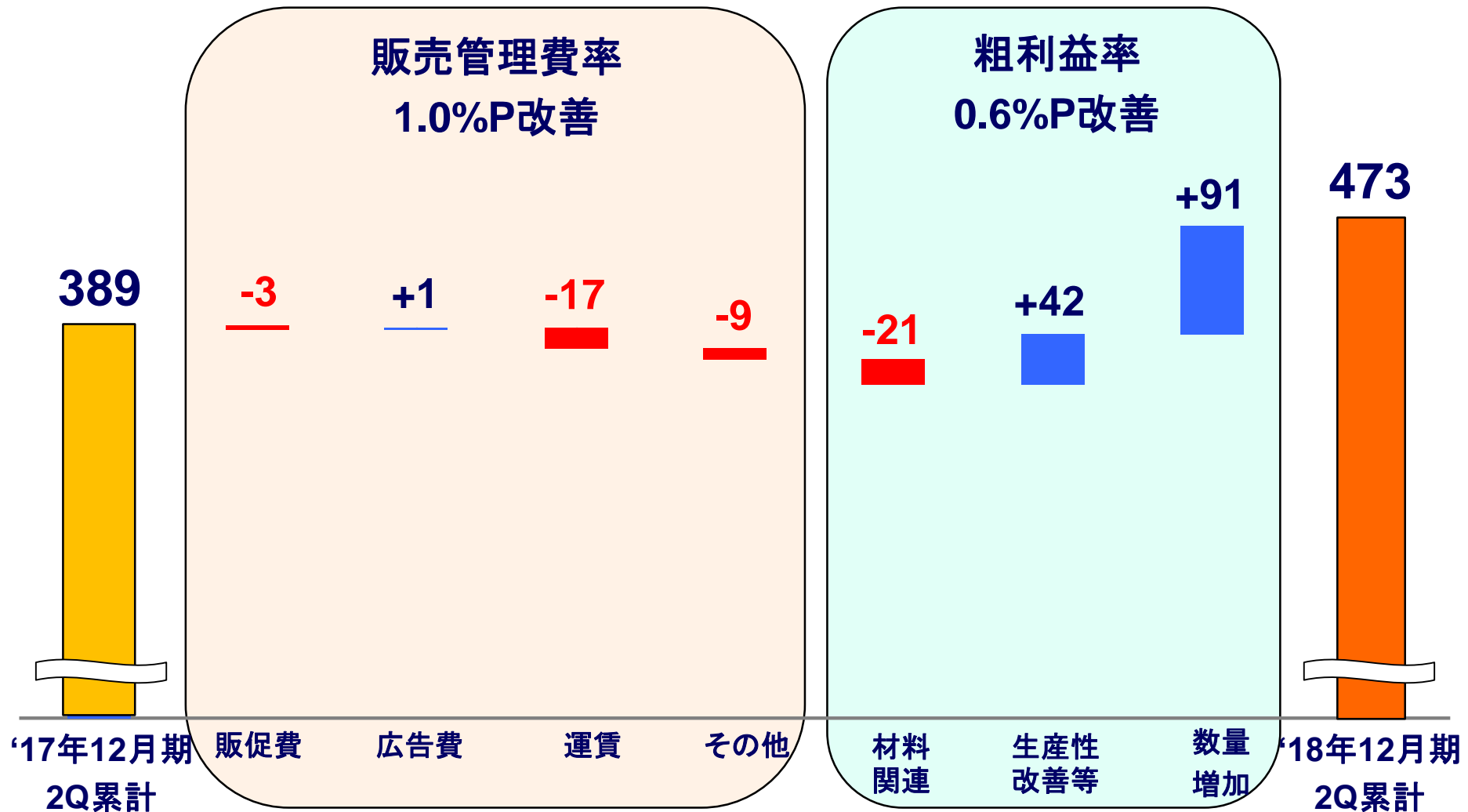
(百万円)

	'17/12月期 2Q累計	'18/12月期 2Q累計	増減額	増減率	(業績予想) '18/12月期 2Q累計	達成率
売上高	301,980	325,685	+23,705	+7.8%	322,000	101.1%
コア営業利益 (利益率)	38,941 (12.9%)	47,269 (14.5%)	+8,328	+21.4% (+1.6%P)	42,000 (13.0%)	112.5%
税引前四半期利益 (利益率)	38,429 (12.7%)	45,418 (13.9%)	+6,989	+18.2% (+1.2%P)	41,500 (12.9%)	109.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (利益率)	25,198 (8.3%)	30,001 (9.2%)	+4,803	+19.1% (+0.9%P)	26,000 (8.1%)	115.4%
基本的1株当たり四半期利益(円)	42.80	51.10	+ 8.30	+ 19.4%	—	—
USDレート(円)	112.37	108.68	-3.69	-3.3%	110.00	—
中国元レート(円)	16.39	17.09	+0.70	+4.3%	16.80	—

継続的なマーケティング投資の効果により、販売数量の増加や商品ミックスの改善等が、原材料価格の上昇等を吸収し、コア営業利益は83億円増加、収益性も大幅に改善

■ コア営業利益増減

(億円)



日本では、BCの越境ECが高成長を継続、他事業も好調を継続 アジアでは、主要国のタイ、中国、インドネシア等が収益性改善



■ 所在地別セグメント情報

(百万円)

		'17/12月期 2Q累計	'18/12月期 2Q累計	増減額	増減率	(参考) 実質 増減率 ^{※1}
日本	売上高	122,690	131,520	+8,830	+7.2%	—
	コア営業利益	26,199	27,065	+866	+3.3%	—
	(利益率)	(21.4%)	(20.6%)		(-0.8%P)	—
アジア	売上高	129,815	143,446	+13,631	+10.5%	+10.3%
	コア営業利益	10,037	17,470	+7,433	+74.1%	+71.2%
	(利益率)	(7.7%)	(12.2%)		(+4.5%P)	—
その他 ^{※2}	売上高	49,475	50,718	+1,243	+2.5%	+4.1%
	コア営業利益	2,557	2,557	+0	+0%	+2.1%
	(利益率)	(5.2%)	(5.0%)		(-0.2%P)	—
調整額等	売上高	—	—	—	—	—
	コア営業利益	149	176	+27	—	—
	(利益率)	—	—	—	—	—
連結	売上高	301,980	325,685	+23,705	+7.8%	+8.0%
	コア営業利益	38,941	47,269	+8,328	+21.4%	+20.8%
	(利益率)	(12.9%)	(14.5%)		(+1.6%P)	—

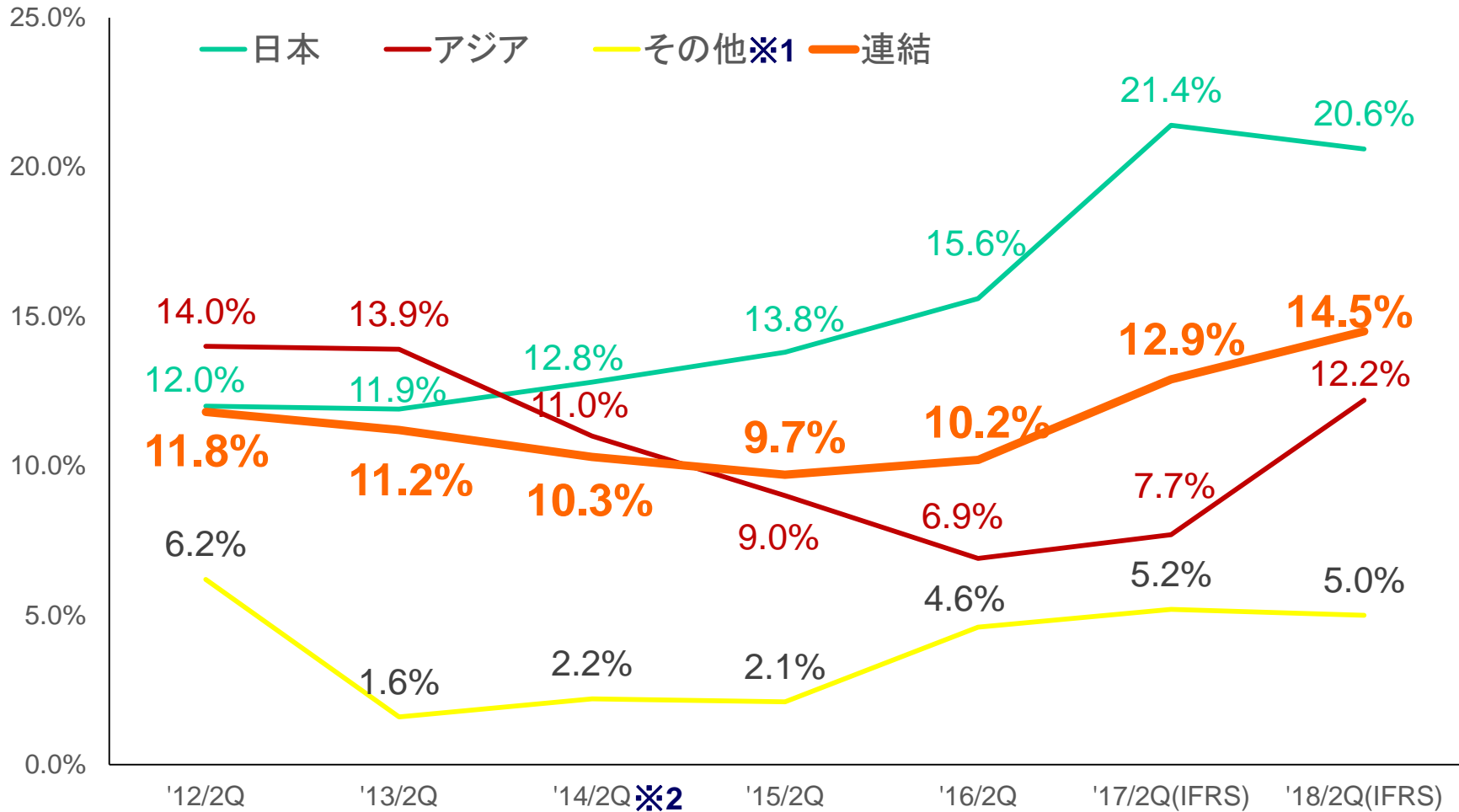
※1:実質増減率は為替変動を除く増減率。

※2:その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

日本では、輸出の拡大や高付加価値化を推進し高収益性維持
 アジアでは、主要国で順調に収益性が改善
 なかでも中国FCやタイFC等が好調を持続



■ 所在地別 コア営業利益率(営業利益率)



※1: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

※2: 決算期変更により変則的な決算期間。

国内PCでは、主にトイレタリー商品等が好調に推移
 北米PCでは、気候の影響で主力品が伸び悩んだが
 商品ミックスの見直しにより収益性が改善

■ 事業別セグメント情報

(百万円)

		'17/12月期 2Q累計	'18/12月期 2Q累計	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	261,051	284,046	+22,995	+8.8%
	コア営業利益	34,629	42,743	+8,114	+23.4%
	(利益率)	(13.3%)	(15.0%)		(+1.7%P)
ペットケア	売上高	37,770	38,126	+356	+0.9%
	コア営業利益	4,424	4,496	+72	+1.6%
	(利益率)	(11.7%)	(11.8%)		(+0.1%P)
その他 ^{※1}	売上高	3,174	3,528	+354	+11.1%
	コア営業利益	-112	29	+141	—
	(利益率)	—	(0.8%)		—
調整額等	売上高	-17	-16	+1	—
	コア営業利益	0	0	0	—
	(利益率)	—	—	—	—
連結	売上高	301,980	325,685	+23,705	+7.8%
	コア営業利益	38,941	47,269	+8,328	+21.4%
	(利益率)	(12.9%)	(14.5%)		(+1.6%P)

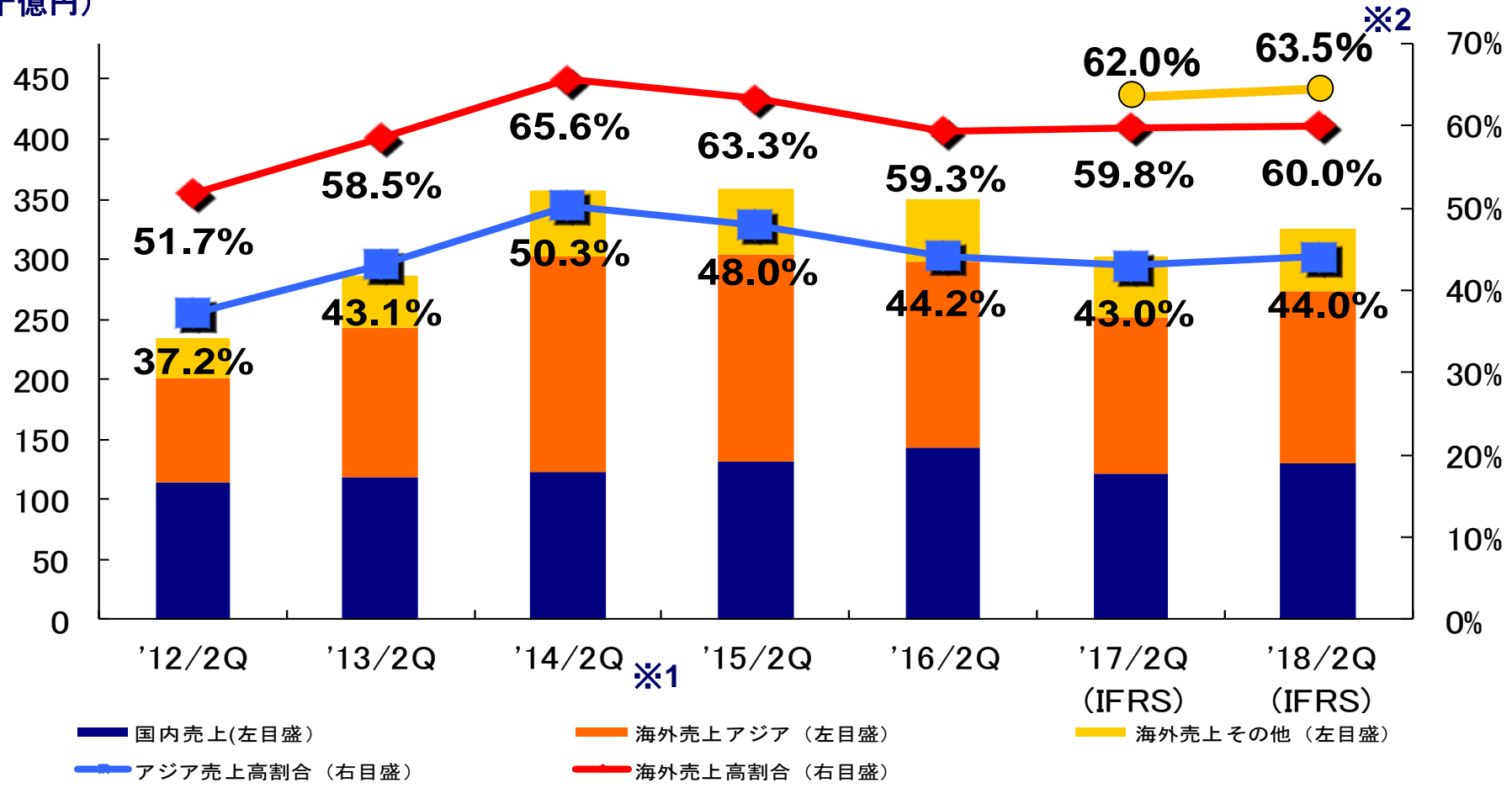
※1:その他は産業用資材関連商品等、育児動画配信サービス。

海外売上高構成比は60.0% (為替影響を除くと60.1%)



国内・海外売上高推移

(十億円)



※1: 決算期変更により変則的な決算期間。
 ※2: 日本からの越境EC等の輸出を海外売上高とした場合

為替変動の影響額は 売上高 約5億円減、コア営業利益 約2億円増

■ 通貨別変動推移

通貨	'17/12期2Q累計レート	'18/12期2Q累計レート	増減率
中国(CNY)	16.39	17.09	+4.3%
インドネシア(IDR)	0.0085	0.0079	-7.1%
タイ(THB)	3.24	3.43	+5.9%
サウジアラビア(SAR)	30.01	29.02	-3.3%
インド(INR)	1.73	1.67	-3.5%
ベトナム(VND)	0.0049	0.0048	-2.0%
米国(USD)	112.37	108.68	-3.3%
台湾(TWD)	3.67	3.69	+0.5%
オランダ(EUR)	121.64	131.64	+8.2%
韓国(KRW)	0.0987	0.1012	+2.5%
オーストラリア(AUD)	84.79	83.93	-1.0%
マレーシア(MYR)	25.61	27.63	+7.9%
エジプト(EGP)	6.28	6.13	-2.4%
ブラジル(BRL)	35.37	31.84	-10.0%
ロシア(RUB)	1.94	1.84	-5.2%

2018年12月期 業績予想見通し

下期も上期同様、好調を持続する見込みだが、想定以上の原材料価格の変動等の影響により、当初業績予想を据置く

■ 連結業績予想

(百万円)

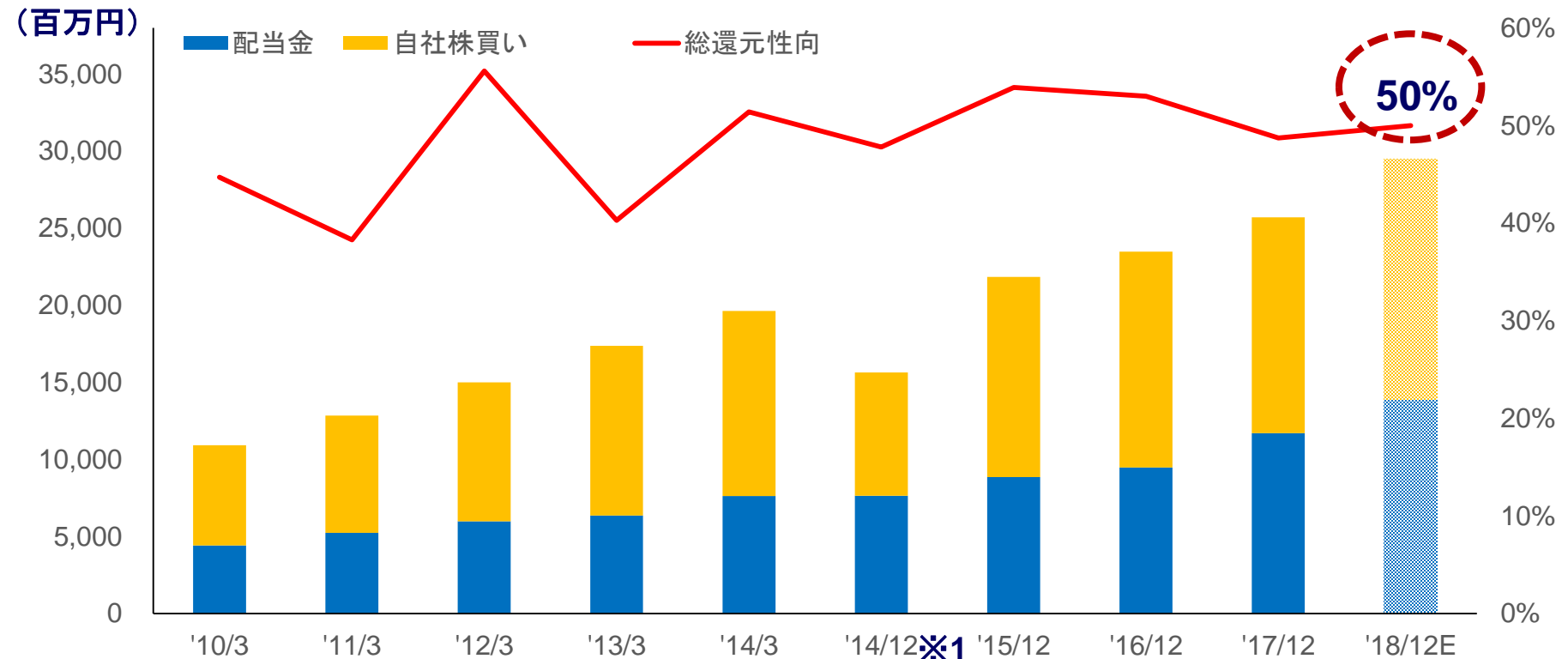
	‘17/12月期	‘18/12月期	増減額	増減率	※1 (参考) 実質増減率
売上高	641,647	687,000	+45,353	+7.1%	+7.5%
コア営業利益 (利益率)	86,838 (13.5%)	94,000 (13.7%)	+7,162	+8.2% (+0.2%P)	+8.5%
税引前当期利益 (利益率)	92,926 (14.5%)	93,000 (13.5%)	+74	+0.1% (-1.0%P)	—
親会社の所有者に帰属する当期利益 (利益率)	52,772 (8.2%)	59,000 (8.6%)	6,228	+11.8% (+0.4%P)	—
基本的1株当たり当期利益(円)	89.85	99.14	+9.29	+10.3%	—
USDレート(円)	112.19	110.00	-2.19	-2.0%	—
中国元レート(円)	16.63	16.80	+0.17	+1.0%	—

※1: 実質増減率は為替変動を除く増減率。

株主還元政策

2018年度も総還元性向50%を予定

株主還元政策



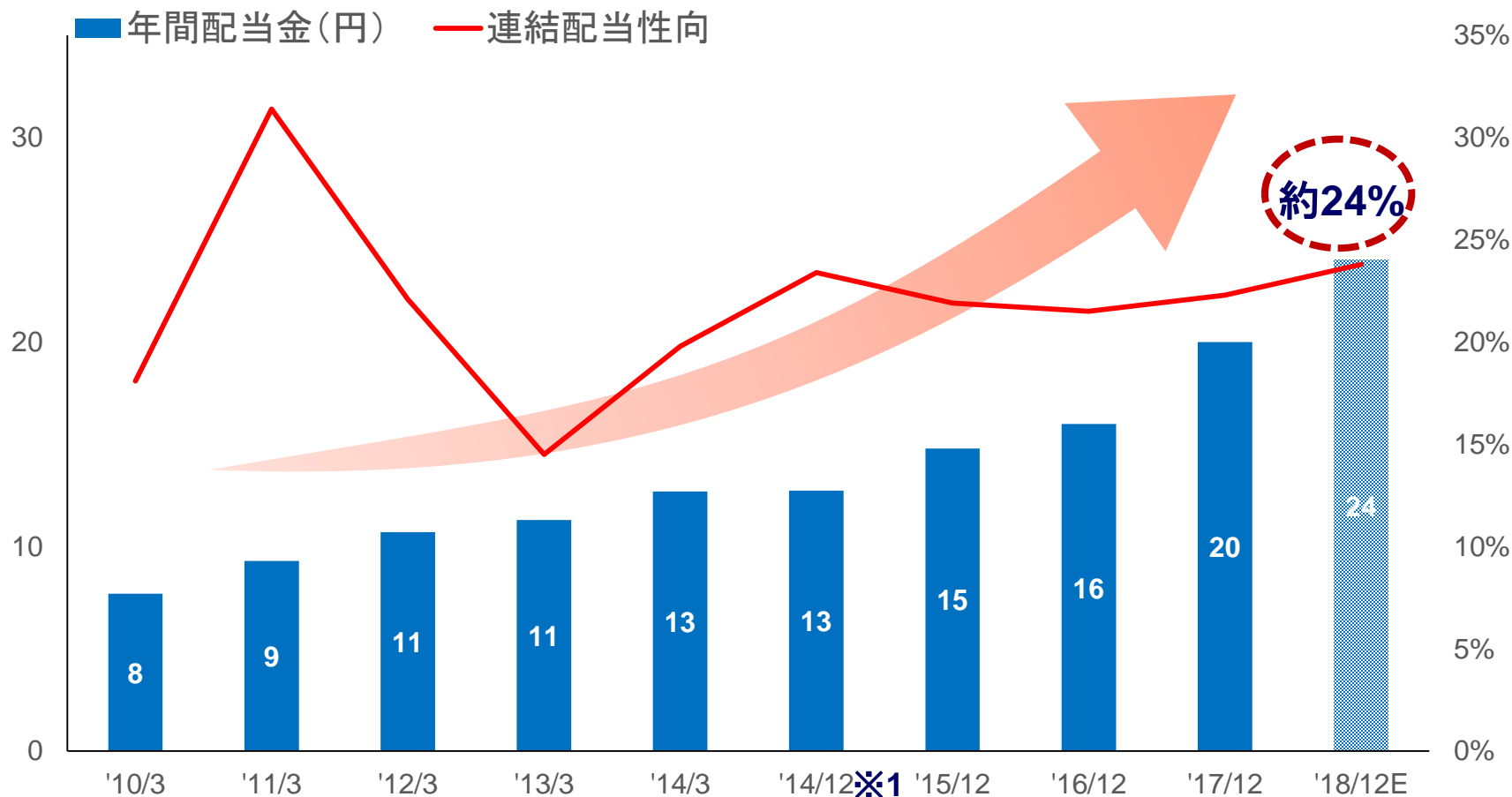
※1 '14/12は、会計年度9ヶ月の変則決算。

継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**(配当性向は段階的に引き上げる)に利益還元を図っております。

安定的かつ継続的な増配を実施し、17期連続増配を計画 配当性向は段階的に上昇

■ 1株当たり配当金の推移

(円)



※1 '14/12は、会計年度9ヶ月の変則決算。

企業価値向上に向けて

ユニ・チャームの目指す『共生社会』の実現に向けた取り組みを通じて、重要課題を解決し持続的な成長を実現



持続可能な開発目標 (SDGs)



ユニ・チャームの重要課題

1. 健康寿命の延伸



4. 地域社会への
貢献・人間尊重



2. 新興国における女性
の自立支援及び衛生改善



5. 組織基盤の強化と公正な事業慣行

3. 環境と持続可能性への貢献



重要課題に対する取り組み

健康寿命の延伸

地球環境への貢献

新興国の女性の自立支援および衛生改善

地域社会への貢献

ユニ・チャームの目指す世界

全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる

NOLA & DOLA

Necessity of Life with Activities & Dreams of Life with Activities



共生社会の実現



健康寿命の延伸



◆『ライフリー』で健康寿命をささえる

■ 「ソーシャル・ウォーキング※」で健康寿命の延伸に貢献

※「社会参加&歩行」の造語で、人と関わり、楽しみながら歩くことを誰もが取り組みやすい形にした認知症予防のためのウォーキング（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所の監修のもと、当社考案。）



■ 尿もれの不安をなくして外出意欲を促進し、健康寿命を延伸する商品を提供



◆「認知症サポーター※養成講座」の実施

■ 認知症予防とケアの両面で社会貢献活動推進の大切さを学び、「共生社会」の実現に貢献する人材を育成（社内研修）



◆ペットの共生社会の実現に向けた商品開発

■ 介護が必要な状態となった高齢のペットの生活を少しでも楽に快適にし、最期の時まで幸せできるように

獣医師が推奨する

ユニ・チャーム ペット Pro



※ 認知症当人や家族を支援する正しい知識と理解のある人



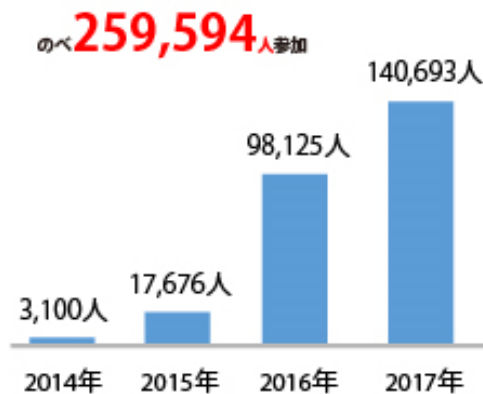
新興国の女性の自立支援 および衛生改善



◆「生理だから学校に行けない」をなくすために

■ インド、インドネシア、ミャンマーでの初潮教育プログラムの展開

■ ソーシャル・インパクト
新興国初潮教育参加者数



◆サウジアラビアの女性専用工場での就労支援

■ 働きやすい環境をさらに拡大

✓ 託児所や子どもとも過ごせる休憩スペースの充実

✓ 女性社員をリーダーに置き、工場運営をレベルアップ





環境と持続可能性への貢献

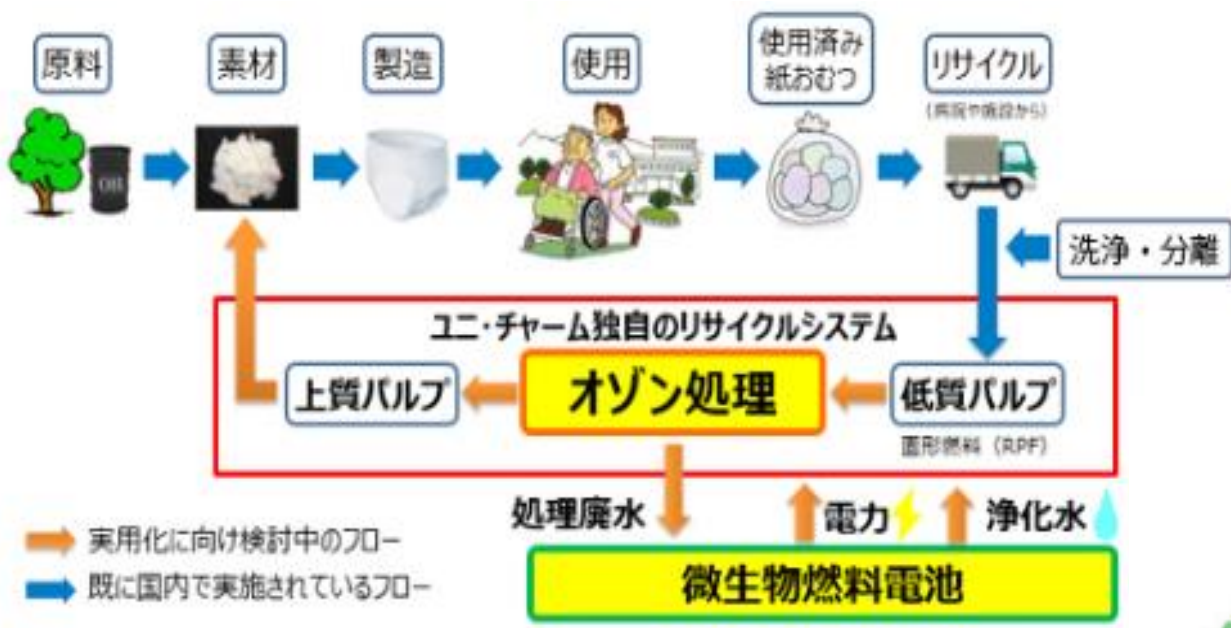
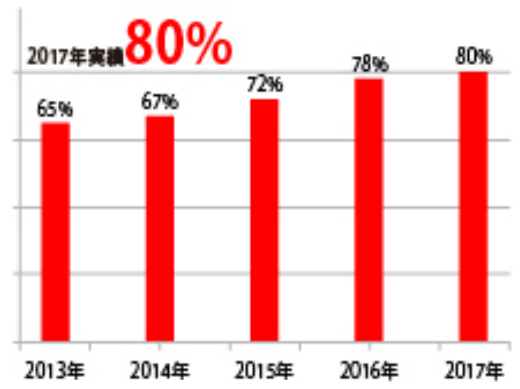


◆紙おむつの再資源化に向けた取り組み

■ ユニ・チャームの目指す紙おむつの循環型モデル

- ✓ 使用済み紙おむつから低質パルプを抽出した後、独自のオゾン処理を添加
- ✓ 再利用の工程で設備不具合の原因となるSAPを酸化させて水と二酸化炭素にまで分解し、**バージンパルプと同等の衛生的で安全な上質パルプとして再資源化**
- ✓ 紙おむつリサイクル工程での**微生物燃料電池を利用して水質浄化と同時に発電**が可能な処理方法に関する**特許を取得**
- ✓ 志布志市とともに世界で普及可能なリサイクルシステム確立へ

■ ソーシャル・インパクト 環境配慮型商品率推移





地域社会への貢献



◆被災地支援の取り組み

■ 被災地支援と節電活動を組み合わせたマッチングファンド※の継続



※「被災地支援」と「節電推進」を目的に。社員が着用するオリジナルポロシャツやジャンパー、グッズなどを社内で販売。社員の購入した代金相当額と同額を寄付する制度。

■ ソーシャル・インパクト

被災地継続支援活動「スーパークールビス/ウォームビス」のべ参加人数累計



*2011年はスーパークールビスのみの実施

◆地域活性化支援

- 静岡県掛川市と災害対策や子育て支援、健康増進など7分野における『包括連携協定』を締結
- 福島市と『災害時における物資の供給協力に関する協定』を締結
- 福岡、熊本、香川等でも協定を締結





ユニ・チャームは
全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる“共生社会”の
実現に寄与するために、
快適と感動と喜びを与えるような
世界初、世界No.1の商品と
サービスを提供しつづけます。